

住まい整備の全体像

～建物整備だけじゃない、
生徒の暮らしを支える“人”と“しくみづくり”～

令和7年4月25日(金) 15:30～17:00
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
地域みらい留学 住まい伴走チーム

今日の参加にあたって、今の気持ちに近いものを選んでください。

- ① 住まい整備についてまだピンときていないが、話を聞く中で考えたい
- ② 住まい整備についてよくわからず、不安な気持ちだ
- ③ まずは情報収集をしたいと思って参加した
- ④ 具体的に知りたいことがあり参加した



寮(20名～40名)



シェアハウス(2名～6名)



宿泊施設



一人暮らし

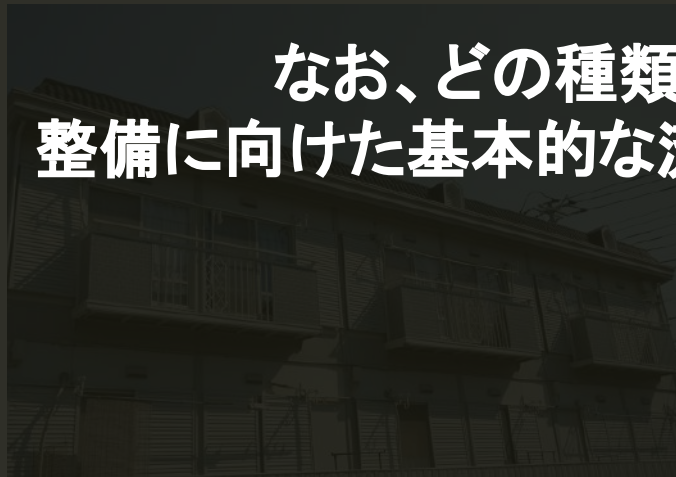


ホームステイ

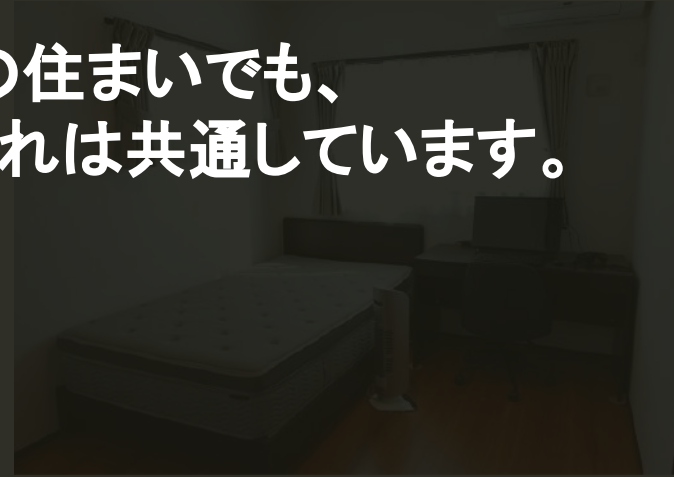
※この研修では、「寮」「寮生」「寮運営関係者」といった言葉を使うことがありますが、
ここでいう「寮」は、

寮(20名~40名) シェアハウス(1名~6名) 宿泊施設
この5つの住まいの種類をすべて含むものと考えてください。

なお、どの種類の住まいでも、
整備に向けた基本的な流れは共通しています。



一人暮らし

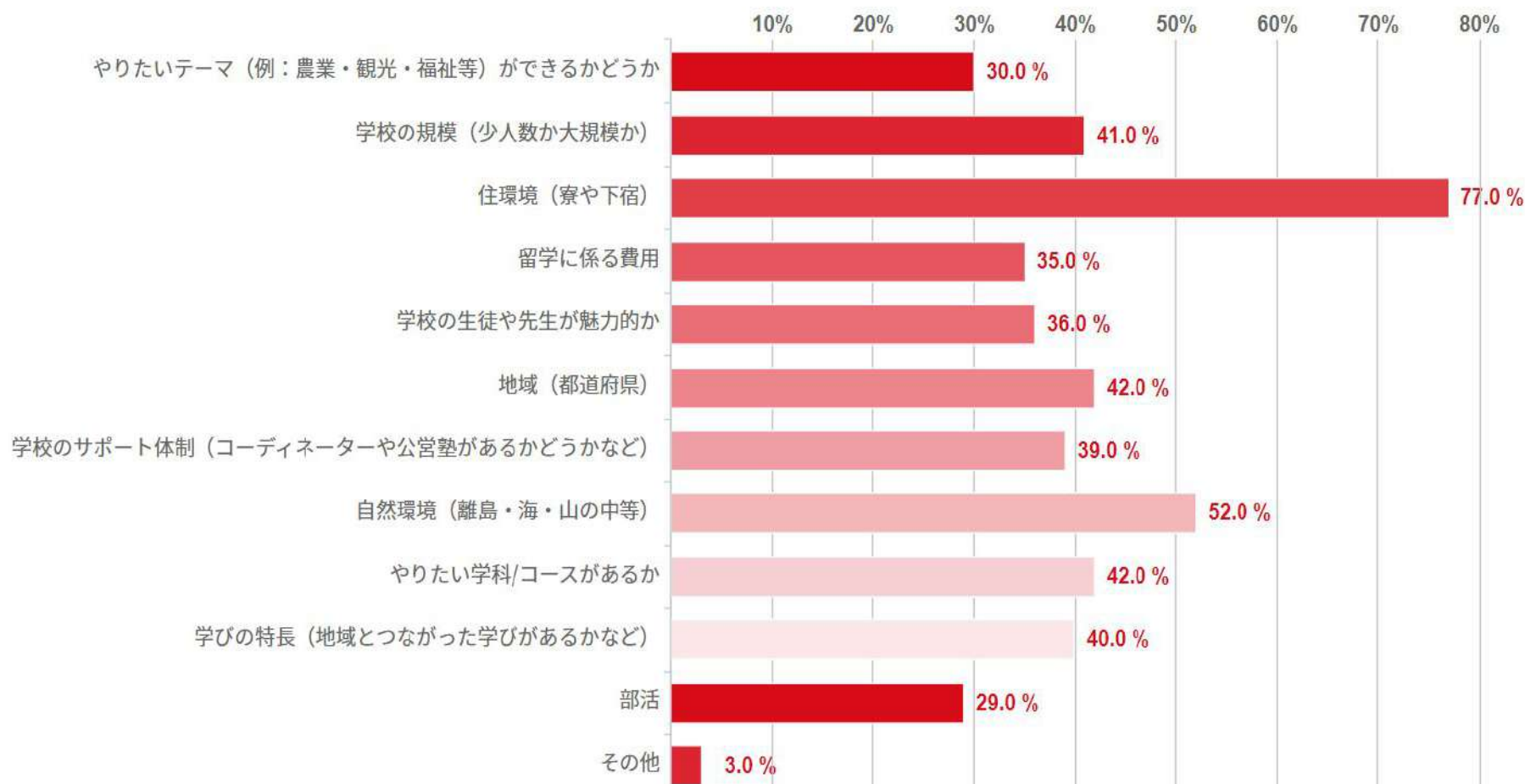


ホームステイ

77%が「住環境(寮や下宿)」で留学先校を絞ると回答

学校を「最初にいくつかにしぼる」際にどのような観点でしぼりましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

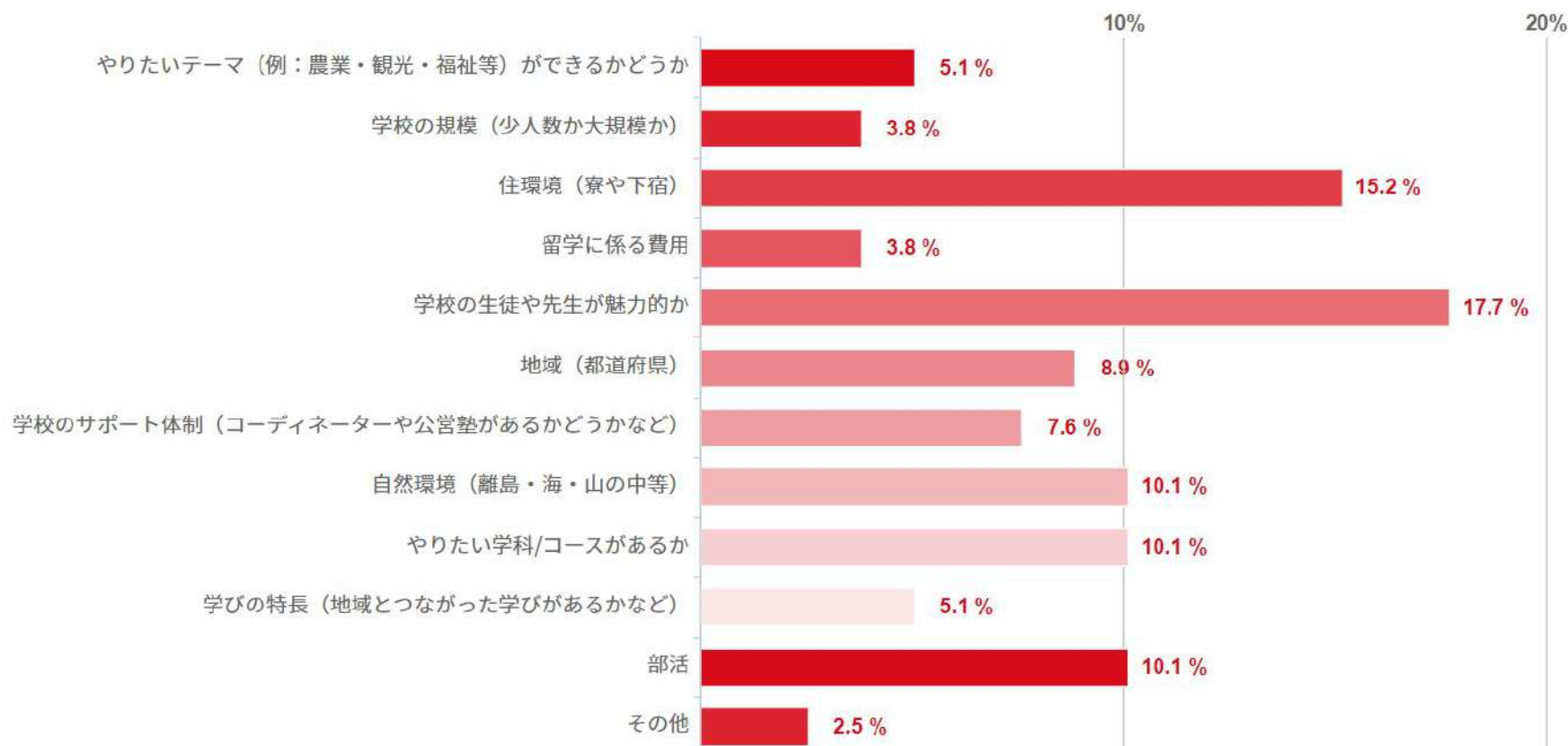
(回答数: 100)



住まいの重要性(地域みらい留学検討者のアンケート)

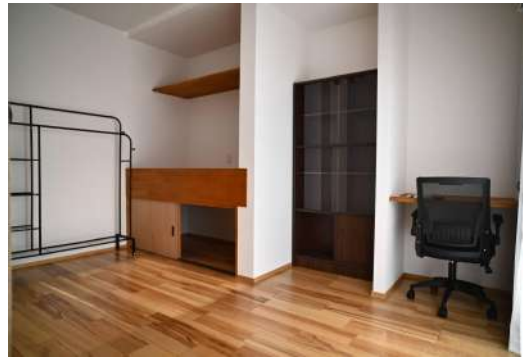
1位「学校の生徒や先生が魅力的か」に続き、 2位「住環境(寮や下宿)」が決め手になったと回答

受検したい学校を「決める」際にどのような観点が決め手になりましたか。最も近いものをお選びください。
(回答数: 79)



1	住まい整備の全体像	30分
2	事例共有（佐賀県有田町シェアハウス）	20分
3	質疑応答	20分
4	まとめ	10分
5	お知らせ	10分

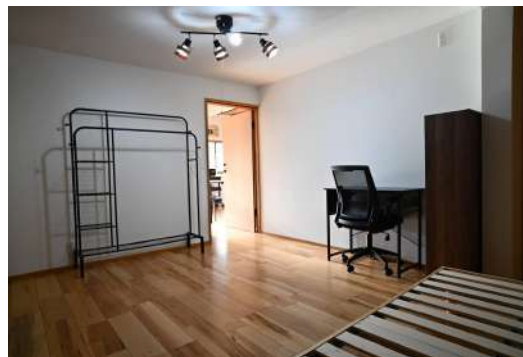
この研修は、全国から佐賀県有田工業高校進学する生徒たちのシェアハウス「ありこや」を立ち上げ、親元を離れて生活する子どもたちの見守りを行ってきた知見をもとに作成しています。



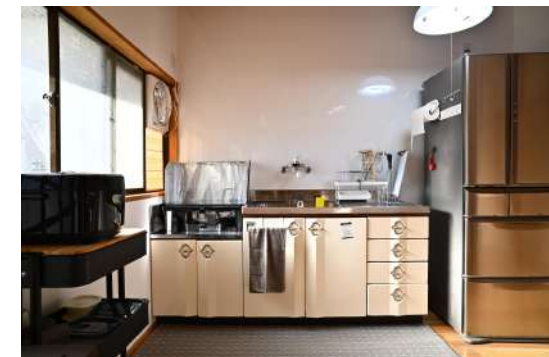
個室



共有スペース



個室



台所

23年4月

22年度に1名、23年度には6名の県外生徒が入学。
着実に成果が上がっていた一方で「住まいが足りない」という課題に直面。
地域のアパートやゲストハウスのオーナーに協力いただいていたが、それでも足りなくなり、募集を続ける上では、生徒が安心して暮らせる住まいの確保が急務となる。

7月

有田町で空き家活用に取り組んでいる方の協力を得て、物件を確保。
佐賀県、有田町、空き家オーナー、工務店、不動産会社の協力を得て、住まい整備に向けて動き出す。

11月

シェアハウスにするための個室化、壁や床の改修、雨漏りの修繕工事開始。
並行して、備品・消耗品を購入。

24年1月

賃貸借契約、寮則など、入居に必要な各種書類を作成。

2月

改修工事完了。地域へのお披露目会、入寮希望者への説明会実施。

3月

入居

**はじめての住まい整備。
さまざまな壁に直面しました。**

直面した壁(課題)

寮をつくるために、何をしなければならないのか
わからない。
物件、体制、生徒のサポート内容を、何を基準に決めたらいいのかわからない。

具体的に、だれが何をすればいいのかわからない。

寮運営で発生する様々なことを、
どう対応したらいいのかわからない。



取り組んだこと

つくりたい町の未来、育みたい生徒像、大切にしたい寮での体験をもとに寮のコンセプトを作成。コンセプトを軸に、寮の機能、サポート内容、体制を決定。

決定した寮の機能と寮でサポートする内容から、業務を洗い出し、寮運営関係者の日々のタスクとコミュニケーションラインを決定。

寮運営開始後に発生した課題をヒアリングしながら、対応を決定。
緊急時の対応フロー、見守りのガイドライン、各業務のマニュアルとして知見を整理し、チーム内で共有。

直面した壁(課題)

寮をつくるために、何をする必要があるのかわからない。
物件、体制、生徒のサポート内容を、何を基準に決めたらいいのかわからない。

具体的に、だれが何をすればいいのかわからない。

寮運営で発生する様々なことを、どう対応したらいいのかわからない。

取り組んだこと

つくりたい町の未来、育みたい生徒像、大切にしたい寮での体験をもとに寮のコンセプトを作成。コンセプトを軸に、寮の機能、サポート内容、体制を決定。

決定した寮の機能と寮でのサポート内容が、寮の運営にどう影響するかを想定し、寮運営関係者の日々のコミュニケーションラインを決定。

寮運営後に発生した課題をヒアリングしながら、対応を決定。
緊急時の対応フロー、見守りのガイドライン、各業務のマニュアルとして知見を整理し、チーム内で共有。

これらの課題を一気に解決するのが、
この研修です。

ありこやシェアハウスを整備しながら、
実際に直面した課題をもとに作成しています。
住まい整備の全体像を知っていただくことで、
少しでも皆さんのお役に立てたら嬉しいです。



①基本計画 ②実施計画 ③運営体制
住まい整備の3つのステップで何をするのかわかる



住まい研修の流れがわかる

住まい整備の全体像

意志ある若者が育まれ、
持続可能な地域社会に近づく

魅力ある教育環境

その地域ならではの
学び
#探究 #挑戦

その地域ならではの
出会い
#交流 #体験

その地域ならではの
暮らし
#安心 #健康

学校

教職員

地域

地域住民

住まい

自治体職員

県内外からの入学者が
増える

意志ある若者が育まれ、
持続可能な地域社会に近づく

魅力ある教育環境

★ 住まいの役割

その地域ならではの
学び
#探究 #挑戦

その地域ならではの
出会い
#交流 #体験

その地域ならではの
暮らし
#安心 #健康

学校

教職員

地域

地域住民

住まい

自治体職員

県内外からの入学者が
増える

事務局 機能	組織 づくり	寮運営関係者の採用・配置・育成 寮運営計画の策定・推進	必須項目
実務 機能	暮らし づくり	入寮対応、施設維持、生徒の生活サポート 学校、保護者、役場との連携	
	学び づくり	学習プログラム、公営塾運営 地域と連携した探究学習やキャリア教育	推奨項目
	出会い づくり	寮生向けイベント企画 地域交流、コンソーシアム構築	

事務局 機能	組織 づくり	<p>寮運営関係者の採用・配置・育成 寮運営計画の策定・推進</p> <p>▶継続的な運営が可能になる</p>	必須 項目
	暮らし づくり	<p>入寮対応、施設維持、生徒の生活サポート 学校、保護者、役場との連携</p> <p>▶安心・安全な寮を運営するために必要</p>	
実務 機能	学び づくり	<p>学習プログラム、公営塾運営 地域と連携した探究学習やキャリア教育</p> <p>▶地域の魅力が高まり、生徒募集につながる</p>	推奨 項目
	出会い づくり	<p>寮生向けイベント企画 地域交流、コンソーシアム構築</p>	

事務局 機能	組織 づくり	寮運営関係者の採用・配置・育成 寮運営計画の策定・推進 継続性、安心・安全 = マイナスをゼロにする	必須項目
実務 機能	暮らし づくり	ないと、 <u>マイナス</u> になる 入寮対応、施設維持、生徒の生活サポート 学校、保護者、役場との連携	
	学び づくり	学習プログラム、公営塾運営 地域と連携した探究学習やキャリア教育 魅力づくり = ゼロをプラスにする	推奨項目
	出会い づくり	あると、 <u>プラス</u> になる 寮生同イベント企画 地域交流、コンソーシアム構築	

必須項目

継続的な運営が可能な組織をつくり
生徒の安心・安全な暮らしを守りながら、

推奨項目

魅力をどうつくっていくのか？

を意識しながら、住まい整備を進めていきましょう！

住まい整備スケジュール

最終的なゴール:**26年4月**に地域みらい留学1期生を受け入れられる状態

【STEP1】24年度～25年度上旬に住まい整備の計画を具体化し、**25年度当初または補正予算として整備費用を計上**

【STEP2】**25年6月**の学校説明会時点で住まいの概要(建物、寮費、食事、暮らしのサポート内容)が説明できる

【STEP3】**25年8月**のオープンスクール時点で住まいを見学できる

【STEP4】25年度中に住まい運営の実施体制を具体化し、**26年度当初予算として住まいの維持運営費用を計上**する

		25年度					26年度
	3月	4月	6月	8月	2月	3月	4月
生徒募集	—	生徒募集 開始	学校 説明会	オープン スクール		生徒 受け入れ	高校生活 スタート
目指す 状態	—	—	住まいの概要 が伝えられる	住まいを見学 できる(または 整備後のイ メージが共有 できる)	入居に必要な 契約内容を伝 えられる	生徒が 入居できる	寮運営開始～
予算策定	整備費用 (25年度当初ま たは補正予算)	—				維持運営費用 (26年度当初 予算)	—
実施内容	基本計画 策定	実施計画策定(4月～8月) 寮整備を進めながら運営体制構築(9月～12月)					寮運営開始

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

寮コンセプト
つくりたい町の未来 / 育みたい生徒像
/ 大切にしたい寮での体験

方針

基本計画

実施計画

運営体制

具体

コアメンバー

★ 役場

学校

住まい関係者
物件オーナー
寮運営会社 等

地域内関係者

不動産会社

工務店

ハウスマスター

調理員

宿直

地域の皆さん

地域外

生徒

保護者

Q. まだ住まいについて何も決まっていらないのですが、参加しても大丈夫ですか？

A. はい、もちろん大丈夫です。

今回の研修では、「住まい整備はどこから考え始めればいいのか」「どんな準備をしておくで運営がスムーズになるか」といった内容をお伝えします。これから整備に取り組む方こそ、ぜひ聞いていただきたい内容です。

Q. すでに寮があるのですが、研修に参加する意味はありますか？

A. はい、寮づくりのヒントを見つける機会にしていただけると嬉しいです。

寮整備の全体像を知ることで、運営上の課題をふり返ったり、改善のヒントを得ることができます。

自分たちの寮をどうしていきたいかを考えるワークシートもご用意していますので、新しく関わる方の研修やチームづくりにも活用していただけます。

Q. 生徒が住む建物があれば十分だと思っていましたが、他に何か準備が必要なことがありますか？

A. はい、寮整備では「人の配置」と「寮を運営するしくみづくり」が大切です。

住まいは建物だけでなく、生徒が安心して生活できるよう、日々の暮らしを支える「人」の存在がとても大切です。また、寮ならではの体験をつくるのが、地域の魅力づくりにもつながります。

研修では、寮での学びを支えるスタッフ（ハウスマスター）や、地域との関わりを含めた運営体制についても取り上げます。

Q. 地域みらい留学に来る生徒や保護者は、どんなことを重視していますか？

A. もっとも重視されているのは、安心して暮らせる環境です。

生徒、保護者を対象にしたアンケートでは、「寮生活を見守ってくれる大人がいること」「自炊ではなく、食事が用意されていること」が特に求められていました。こうした安心できる暮らしの土台が、寮選びや寮生活の満足度に大きく影響しています。

有田町シェアハウス ありこや事例

見えてきた課題

- 住まいのキャパシティが不足しているため、次年度の目標に掲げる5名の入学希望者の受け入れができない。
- 地域みらい留学生の健康管理について、緊急時支援者はいるものの、急な体調不良や日々のストレスケア、食事のサポートなどに関する支援体制が十分には整っていない。



必要な対応

- 地域みらい留学による入学を希望する生徒のための住居の確保
- 地域みらい留学生の健康面をサポートする体制の構築

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

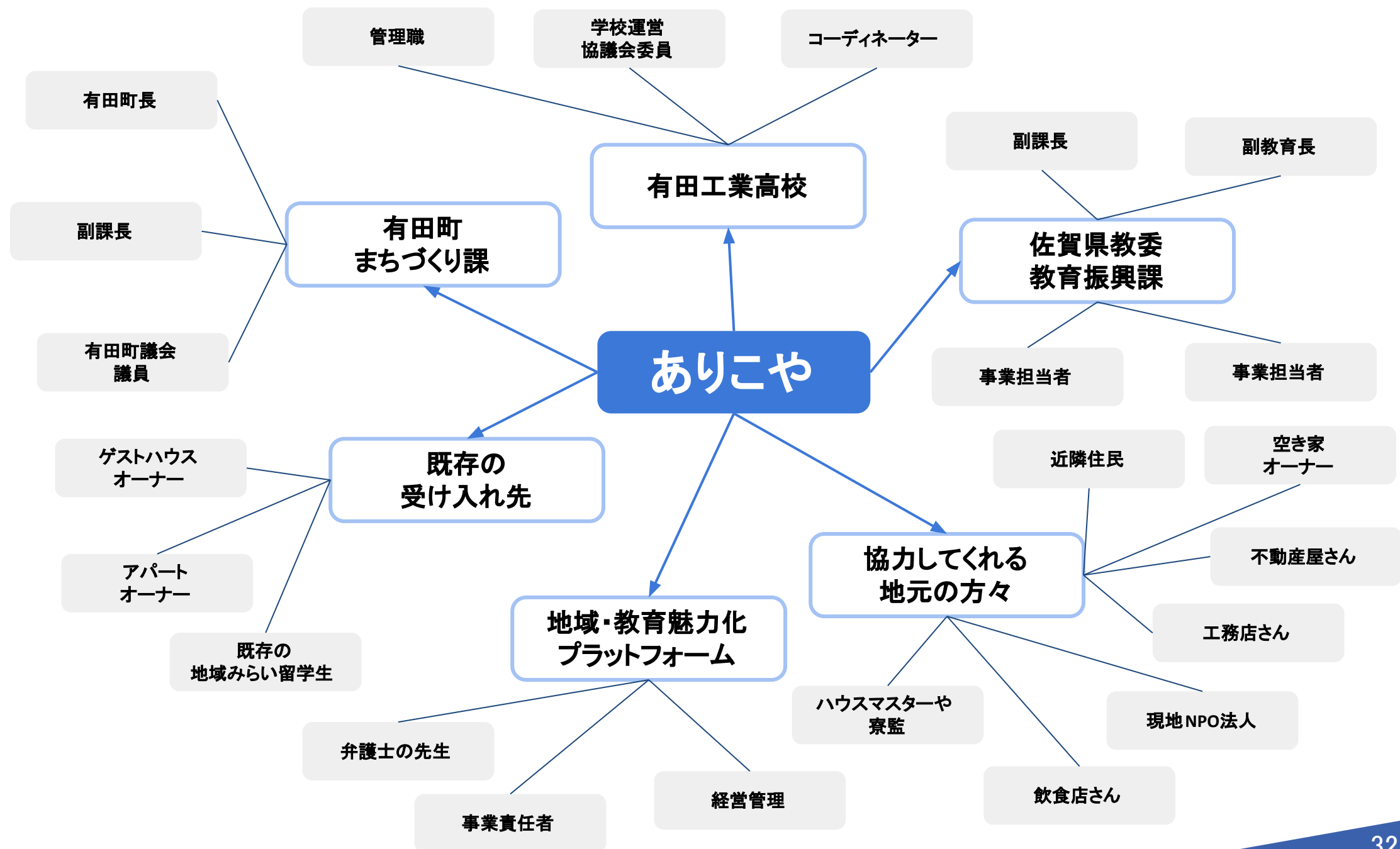
改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

基本計画

事務局 機能	組織 づくり	寮運営関係者の採用・配置・育成 寮運営計画の策定・推進	必須 項目
	暮らし づくり	入寮対応、施設維持、生徒の生活サポート 学校、保護者、役場との連携	
実務 機能	学び づくり	学習プログラム、公営塾運営 地域と連携した探究学習やキャリア教育	推奨 項目
	出会い づくり	寮生向けイベント企画 地域交流、コンソーシアム構築	

事務局 機能	組織 づくり	▶「寮運営」「見守り」の2つのプロジェクトの事業化 寮運営計画の策定・推進	必須項目
	暮らし づくり	▶急な体調不良や日々のストレスケア、食事のサポートに関する支援体制の構築との連携	
実務 機能	学び づくり	なし	推奨項目
	出会い づくり	▶地域ならではの体験をしてもらえる機会の提供 寮生向けイベント企画 地域交流、コンソーシアム構築	



((!!)) 大変だったこと

関係者が多くて、立場によって考えも異なるため意見を取りまとめるのが大変だった。



よかったこと

関係者へのヒアリングを通して見えてきた課題をもとに、寮で備える必要のある機能を洗い出すことができた。

大切にしたいこと “やってみゅー”

やってみゅーは、佐賀の方言で「やってみるわ」「一緒にする？」という2つの意味があります。
ちょっとやってみようかな、と何かをはじめるときも、
じゃあ一緒にやってみる？とだれかに声をかけるときにも使える不思議な言葉。

遊ぶように気楽な気持ちで、
面白いことをしたくて、
愉快的企みで、はじめてみる。

だれかを応援する気持ちで、
ちょこっと気にかけたり、
陽気なおせっかいで、一緒にはじめてみる。

「やってみゅー」を合言葉に、
なにかが“はじまる”瞬間を大切に。

「やってみゅー」の気楽に遊ぶような雰囲気や、はじめるワクワク感、高校生らしさ

紋様：七宝

有田のまちで繋がれるご縁。
人と人が豊かに調和する様子。

二色のそばちょこ

- 自らを満たし想像していく力
- 人を大切に思う気持ち

紋様：青海波

器から溢れた水。
優しさが繋がり広がりゆく様子。



にじ色に広がっているロゴの姿

“あなただけの色で、あなただけの絵柄を描いていく”の意味を込めて。

中心のそばちょこは、一つの共同の場“ありこや(家)”であり、円は“個”で人の姿。

一つの円を起点に、重なり、繋がり、出来ていく紋様は、人との重なりや繋がりによって豊かに彩られ、作られていく暮らし（生き方）をイメージしている。

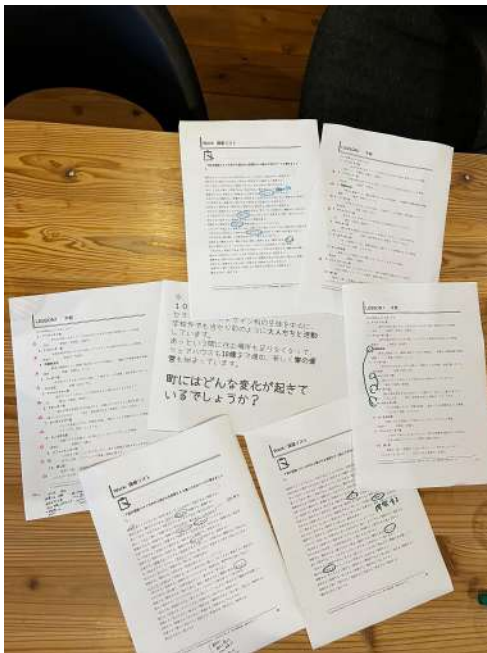


＜合宿の目的＞

- ・事業開始時点での目線合わせ
- ・今後のスケジュールの確認
- ・チームビルディング

＜チームビルディングの議題＞

- ・各個人の価値やニーズの共有
- ・住まいをすることで町に起こしたい変化
- ・そのために必要な施設やサービス





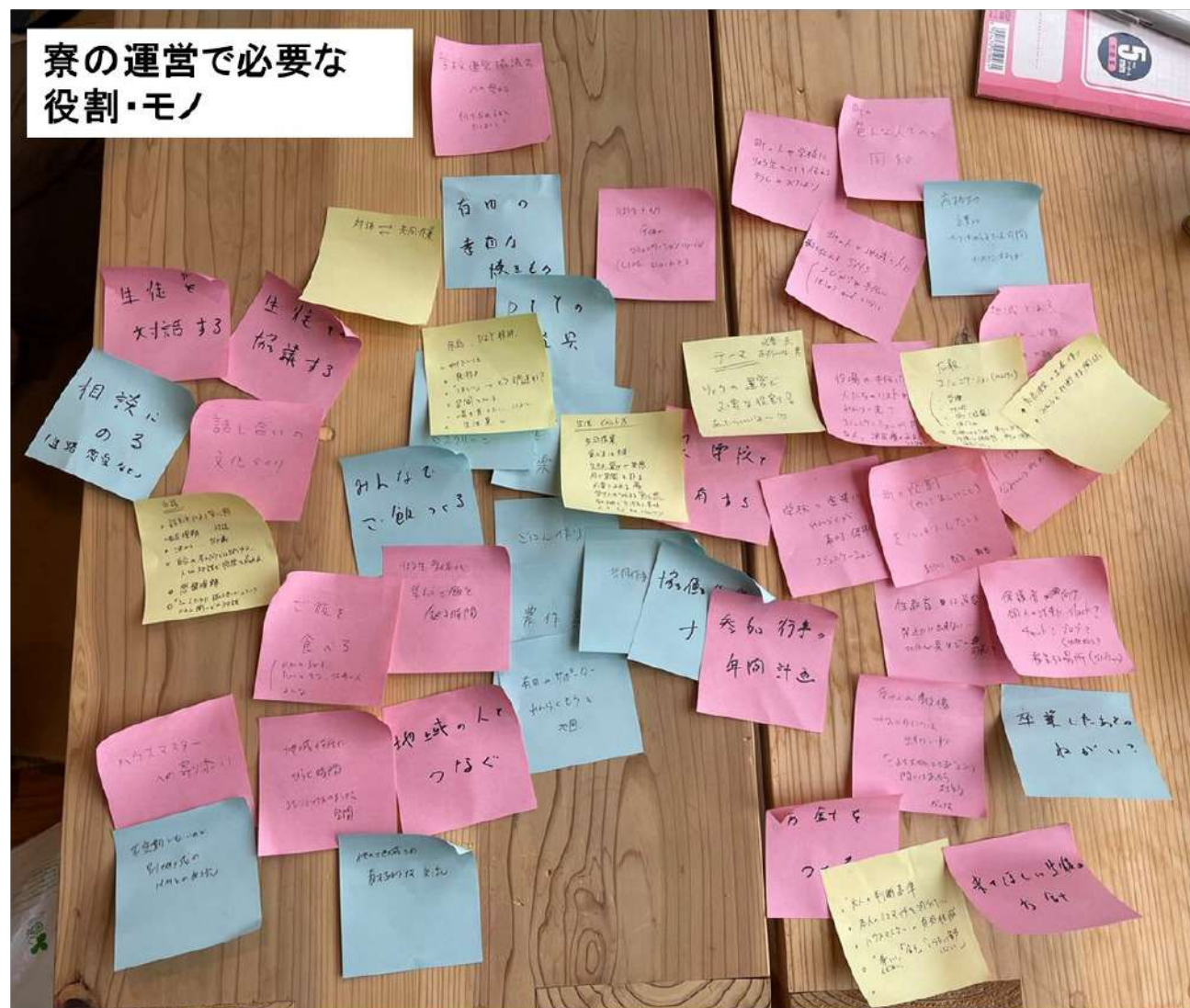
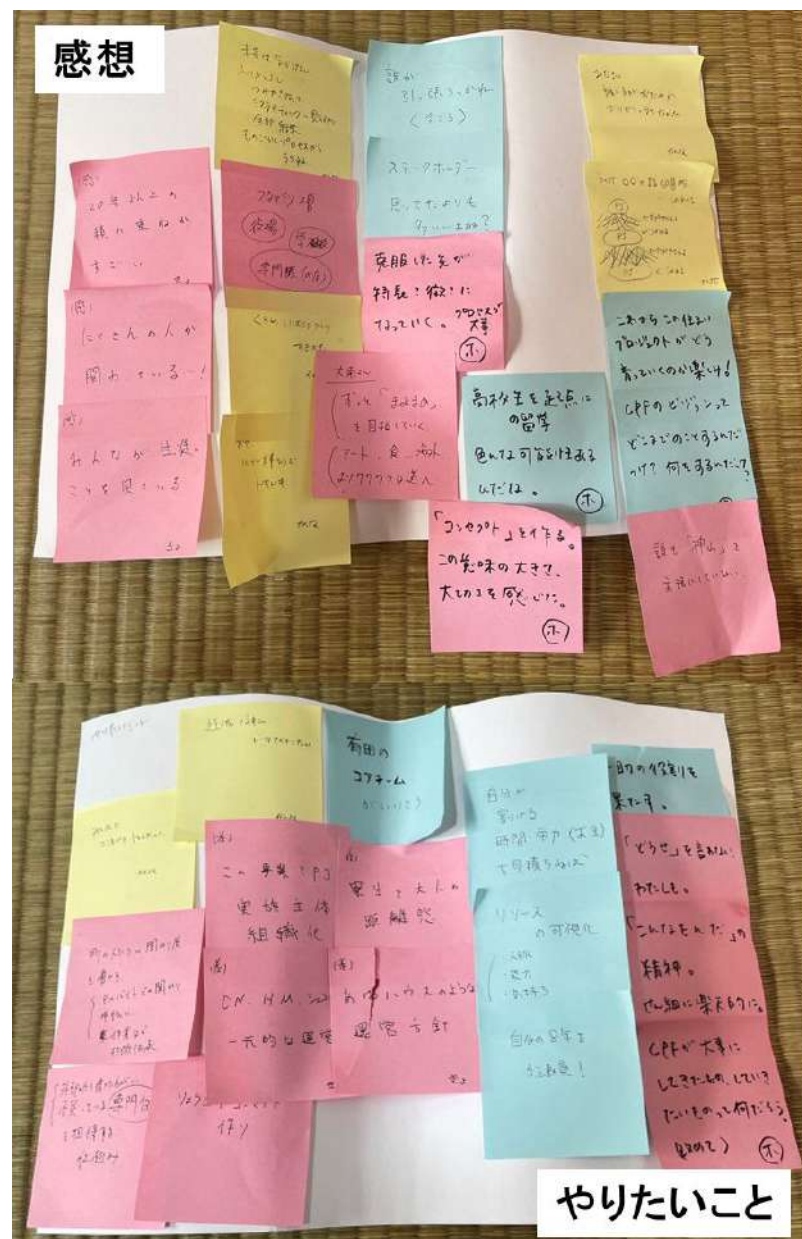
＜視察の目的＞

①仕組み ②ビジョン ③業務 3つの観点から、
神山のまちづくり、暮らしづくり、寮運営について知ろう。

＜視察の利点＞

- ・自事業の仕組み／座組の利点・欠点の把握
- ・共通体験によるビジョンの共有
- ・視察先での業務内容を基盤とした業務の取捨選択
- ・自事業との共通点に関する情報提供





((!!)) 大変だったこと

コンセプトをつくったことがないので、話し合いの時間を何度もった。形にするのも難しかった。



よかったこと

文章やロゴという形で、寮に関わるメンバーの思いを形にしたのがよかった。ロゴづくりはデザイナーさん(専門家)に入っていたいただいたのもよかった。

中心になって寮運営を推進するメンバーの合宿で価値観を共有することで、チームビルディングができた

視察で実際の寮を訪問することで、寮の姿を具体的にイメージすることができた。共通のイメージをもつことができた。

住まい改修に関する初期投資の概算方法は下記の通り。

ひと月あたり（4人入居可）

初期費用(一棟当たりの概算。男女の寮を開発するには最低2棟は必要)

<支出の部：改修費>

項目	単価（円）	数	合計（円）	備考
共用部改修	1,000,000	1	1,000,000	
個室改修	500,000	4	2,000,000	
合計			3,000,000	

<支出の部：家具・家電費用>

項目	単価（円）	数	合計（円）	備考
エアコン	80,000	4	320,000	
洗濯機	50,000	1	50,000	
冷蔵庫	50,000	1	50,000	
Wifi機器	8,000	1	8,000	
レンジ	10,000	1	10,000	
炊飯器	20,000	1	20,000	
照明	20,000	4	80,000	
トースター	3,000	1	3,000	
テーブル	8,000	1	8,000	
椅子	5,000	4	20,000	
合計			569,000	

①見守り業務	②寮運営業務
<ul style="list-style-type: none"> ● 食事と健康面の声かけ（毎日夕方ごろ） LINEワークスによるアンケートの依頼と確認 声かけの結果を日誌に入力 ● 地域みらい留学生の自宅訪問（1回／週） 自宅を訪問し、日々の声かけの結果と齟齬がないかを確認 ● 地域みらい留学生の個別面談（2回／月） 日々の生活の楽しい点や困っている点をヒアリングし、報告書に入力 ● 保護者への報告（随時） 各種情報提供や事業全体に関する協議 ● 学校との情報共有（随時） 日誌や訪問記録の共有を行い、学校での生活状況とのすり合わせ ● 緊急時の1次対応 学校外での体調不良時や事件・事故発生時の1次対応として現地へ駆けつけ、生徒をサポート ● 県への報告（1回／月） 上記の業務に関する報告書を作成し、メールで報告 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寮の維持管理 建物としての管理（清掃フォロー、修繕箇所の修理など安全に暮らせる状態にする） ● 電気、ガス、水道、インターネット環境の整備 契約更新や不具合があった時の対応 ● 家具家電整備、消耗品整備・補充 家具や家電に不具合があった時の対応や、調味料、日用品等の消耗品の管理と補充 ● 平日夕の食事提供(おかずのみ) 飲食店との連絡調整や配達の手配、支払いの管理 ● 緊急時の対応 ハウスマスターによる1次対応ののち、通常の生活に戻るまでのサポート ● イベントの開催や入寮生の生活サポート 定期的な地域との交流イベントの企画運営や、その他入寮生のフォロー ● 契約手続きなど 契約や支払い、その他入居時に必要な書類の作成等に関する事務手続き

ハウスマスターの業務内容の概算方法は下記の通り。※宿直なしの場合

○フルタイム1人分雇用するくらいの予算で想定。8時間×22日間=176時間、月あたり176時間の稼働時間。				
○時給を1,200円で計算				
○平日を22日、1ヶ月を30日とする（30日の内休日が8日間）				
<業務内容>				
項目	単価（円）	数	合計（円）	備考
朝の声かけ	1,200	22	26,400	・ 平日1時間（7:00-8:00）：全ての寮に声掛け、毎日3ヶ所訪問が難しい場合は曜日ごとに訪問先を決めて、オンラインでの登校連絡を必須とすることも検討 ・ オンラインでの連絡はLINE報告もありだしアプリだと学習塾の入退室管理システムとか使えそう。参考まで。 もちろんずるしようと思えばできるし、機械管理でいいのかは検討必要。 https://nyutai.bpsinc.jp/?gad=1&gclid=Cj0KCQjw1_Sk8hDwARIsANbGpFsBmGV4Na-n_eifzPnVV0PBrsGjBfsEJ3R3CWwOuW1bBjP3gtIEzgsaArNEEALw_wcB
夕方の声かけ	1,200	60	72,000	・ 毎日2時間（18:00-20:00）：全ての寮に声掛け、毎日3ヶ所訪問が難しい場合は曜日ごとに訪問先を決めることも検討
個別面談生徒	1,200	8	9,600	・ 1回1時間、1人当たり月2回実施
生徒日誌の作成	1,200	15	18,000	・ 毎日30分、日々の交流や個別面談での気づきを記録
体調不良時の対応	1,200	6	7,200	
緊急時の対応	1,200	6	7,200	
学校との連絡調整	1,200	5	6,000	・ 週1回、1時間（生徒の様子の共有） ・ 例えば、先生方にSlackグループに入っていていただいて子どもの様子が分かるように写真や活動の内容を週1共有でもよさそう。 ・ 学校側に確認が必要なことなども対応。
保護者との連絡調整	1,200	5	6,000	・ 週1回、1時間（生徒の様子の共有） ・ 例えば、保護者さんにSlackグループに入っていていただいて子どもの様子が分かるように写真や活動の内容を週1共有でもよさそう。
留学生全体ミーティング	1,200	8	9,600	・ 週1回、2時間：3ヶ所に分かれて住んでいる生徒が全員集まって交流
上記業務の準備・調整	1,200	21	25,200	
生徒の活動支援	1,200	20	24,000	・ 休日のお出かけ、生徒の活動サポートなど
①ハウスマスター小計		176	211,200	
②管理監督者	5,000	16	80,000	ハウスマスターの人材育成（HMとの定例会議、Slackでの情報共有など）、委託業務管理（委託元との定例会議）
③一般管理費（15%）	291,200	15%	43,680	
合計（①+②+③）			334,880	

((!!)) 大変だったこと

寮運営をしたことないなかで、必要な業務や人員配置の計画をつくるのが難しかった。



よかったこと

空き家を活用したシェアハウスを運営している事例を参考に改修費用や運用費用の概算を作成した。

他の寮のハウスマスターや寮監の業務を参考に必要な業務を洗い出した。

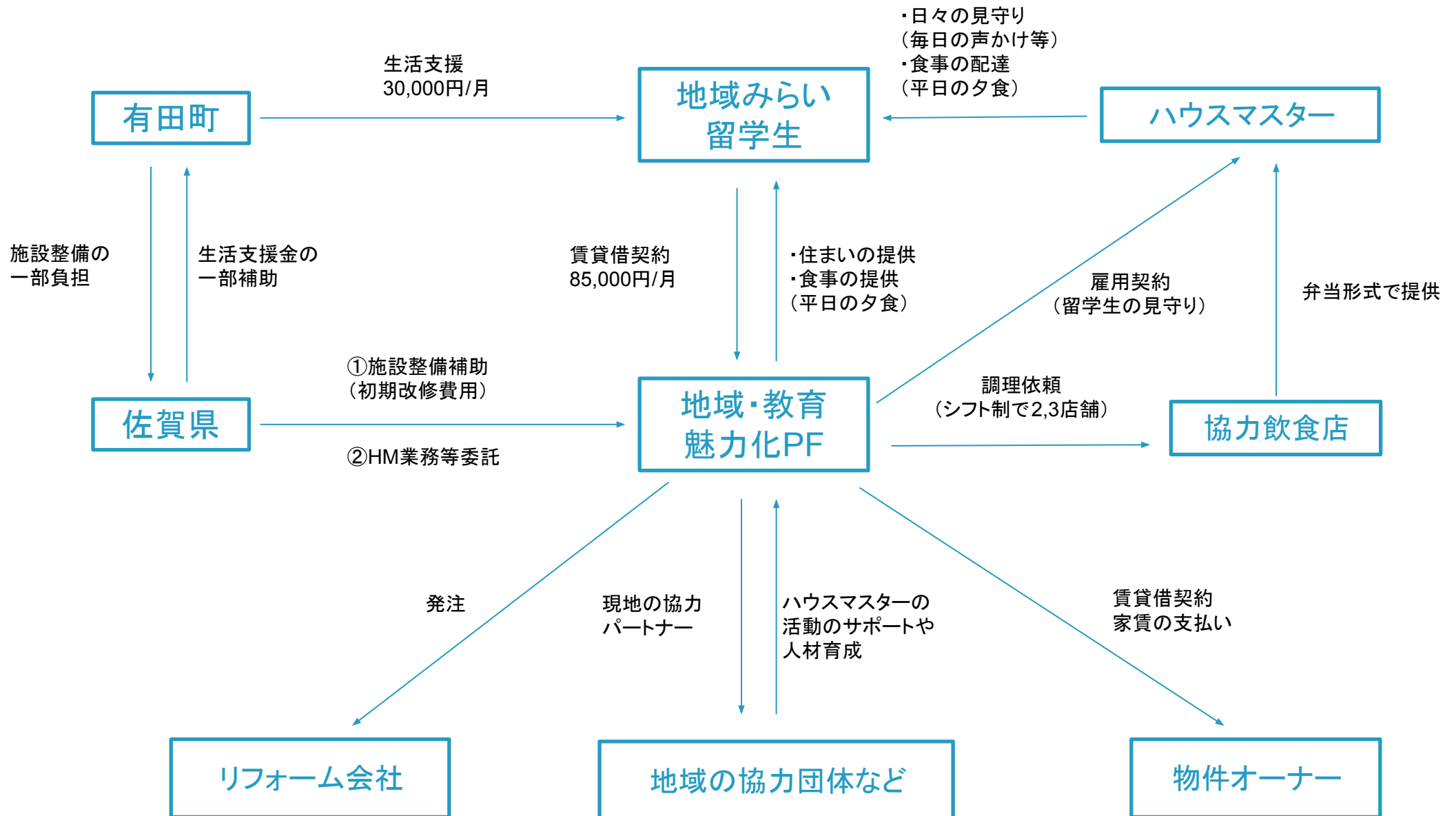
フルタイムのメンバーを寮に配置することができないため、副業人材として関われる方法を模索した。

実施計画

	入居者向け	入居希望者向け	ハウスマスター向け
2月		合格発表、入居説明会、入居手続き	
3月	地域みらい留学生向けイベント 高校3年生卒業、退寮	引っ越し、入居	面談、次年度の業務内容の決定 1年間の振り返り、キックオフ
4月	新入生歓迎会		新しい担当者への引き継ぎ
5月			
6月	防災、防犯教育	おためし地域留学	
7月			1学期の振り返り
8月	地域みらい留学生向けイベント	オープンスクール生対応	
9月		オープンスクール生対応	面談、業務内容の見直し
10月		オープンスクール生対応	
11月			
12月	地域みらい留学生向けイベント		2学期の振り返り
1月		住まい希望調査、受検	
2月		合格発表、入居説明会入居手続き	
3月	地域みらい留学生向けイベント 高校3年生卒業、退寮	引っ越し、入居	面談、次年度の業務内容の決定 1年間の振り返り、キックオフ

各役割のタスク

	ハウスマスター	マネージャー	事務局
声かけ (毎日)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との顔合わせ(初回のみ) ・日々のリマインド 	<ul style="list-style-type: none"> ・HMの顔合わせの調整(初回のみ) ・ハウスマスターのフォロー ・アンケート結果チェック ・日誌への記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーのフォロー
自宅訪問 (毎週)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との訪問日調整 ・生徒の自宅訪問 ・訪問結果の記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問シフトの調整 ・訪問結果のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーのフォロー
個別面談 (隔週)	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅訪問に合わせて面談 ・面談結果の記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談シフトの調整 ・面談結果のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーのフォロー
保護者への 報告 (毎月)		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への挨拶(初回のみ) ・保護者への報告 ・保護者からの問合せ対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーのフォロー
学校との 情報共有 (四半期)		<ul style="list-style-type: none"> ・学校への訪問日時調整 ・学校へ訪問し情報共有 ・結果の記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果のチェック ・マネージャーのフォロー
緊急時の 一次対応 (随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時支援者への挨拶(初回のみ) ・緊急時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時支援者への挨拶(初回のみ) ・緊急時連絡網の配布 ・緊急時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時連絡網の作成 ・緊急時の対応
県への報告 (毎月)	<ul style="list-style-type: none"> ・県／学校への挨拶(初回のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県／学校への挨拶(初回のみ) ・HMの挨拶の調整(初回のみ) ・報告書類の送付 ・業務推進にかかる相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約関係の対応 ・請求関係の対応 ・振り返り等(四半期)の日程調整 ・マネージャーのフォロー



住まい改修に関する維持管理費の概算方法は下記の通り。※宿直なしの場合

ひと月あたり（4人入居可）				
維持費用				
<収入の部>				
項目	単価（円）	数	合計（円）	備考
家賃・生活費	80,000	4	320,000	
合計			320,000	
<支出の部：町負担>				
項目	単価（円）	数	合計（円）	備考
寮母	1,000	120	120,000	時給1000×4時間×30日
ハウスマスター	1,000	90	90,000	時給1000×3時間×30日
合計			210,000	
<支出の部：生徒負担>				
項目	月当たり	数	合計（円）	備考
食事代	45,000	4	180,000	1食事500円×3食×30日=45,000円
電気代	5,500	4	22,000	1人あたり
ガス代	4,000	4	16,000	1人あたり
水道代	2,500	4	10,000	1人あたり
通信費	4,000	4	16,000	1人あたり
消耗品	5,000	4	20,000	1人あたり
賃料	50,000	1	50,000	1棟あたり
合計			314,000	
1人当たりの費用		4	78,500	

((!!)) 大変だったこと

関係者が多いためコミュニケーションラインの整理が大変だった。



よかったこと

事務局と実務担当をわけて設計をすることで、実務担当者が業務に集中できる体制ができた。

運営体制

利用規約

（目的）

この規約は、佐賀県立有田工業高校の生徒寮に関する事項について定めることを目的とする。

（寮則の改定）

寮運営者は、現行の寮則に変更が必要だと判断したときは、寮生及び保護者へ事前に通知し、寮則を改定することができる。

（入寮対象者）

生徒寮の入居資格は、次のとおりとする。

- （1）佐賀県外から佐賀県立有田工業高校に進学し、自宅からの通学が困難な者
- （2）有田工業高校に在学し、校則を遵守することを確約できる者
- （3）有田町に住民票の異動ができる者
- （4）寮の利用規則を遵守することを確約できる者
- （5）その他、佐賀県が特に必要と認める者

（入寮手続き）

- （1）入寮を希望する場合は、期日までに「入寮願 兼 入寮誓約書」「シェアハウス定期建物賃貸借契約書」「サービス提供契約書」を提出する。
- （2）入寮期間は本人が卒業する年の3月10日までとする。

（入寮費）

項目	金額	備考
入寮費	10,000円	入寮時のみ請求する

（寮費）

項目	金額	備考
----	----	----

（禁止事項）

- ・異性の寮へ立ち入ること
- ・施設内に入居者以外の者を立ち入らせたり、宿泊させたりすること
- ・無断で外泊すること
- ・飲酒・喫煙をすること
- ・暴力をふるうこと
- ・人のものを盗むこと
- ・金銭の貸し借りをすること
- ・営業活動をすること
- ・勧誘行為をすること
- ・虚偽の申請をすること
- ・寮の鍵を複製すること
- ・寮の鍵の貸し借りをすること
- ・定められた用法、場所以外で火気を使用すること
- ・動物を飼育すること
- ・備品類を所定の場所以外に移動すること
- ・住居内や近隣地域住民に迷惑を及ぼす騒音を出すこと
- ・帰宅門限後に外出すること
- ・他入居者の私物を無断で使用するこ
- ・持ち込み禁止物を持ち込むこと

お引き受けできること

- **毎日の健康状況の把握**

LINEワークスによるアンケートの依頼と確認
声かけの結果を日誌へ記入

- **生活の様子の把握**

個別訪問、個別面談による、日々の生活の充実感や
困りごとのヒアリング
ヒアリングの結果を日誌へ記入

- **緊急時の一次対応**

マネージャーが「緊急時」と判断した際の病気、怪
我に関する初診の送迎、同伴、それに付随するサ
ポート（買い物等）

- **保護者への報告**

毎月翌月中旬の日誌の送付と、緊急時の対応開始
時、終了時の連絡

お引き受けできないこと

- **健康状況の把握以上の指導や監督**

衛生管理の徹底や生活態度の改善などについての指
導や監督

- **保護者さんからの連絡事項の伝達**

親子間でのトラブル等により連絡が取りづらい場合
における連絡事項の伝達

- **保護者さんへのこまめな情報共有**

日々の状況について、緊急と判断した時以外のこま
めな情報の共有

- **緊急時の学校等への連絡**

ハウスマスターも学校や保護者への緊急時対応のご
連絡を行いますが、欠席等のご連絡はご自身または
保護者にてお願いします

- **緊急時の病院の選定や服薬等の判断**

病院の選定はハウスマスターの判断のもと行い、服
薬等の判断は医師の指示に従います

- **緊急時の一次対応以降のサポート**

緊急時の一次対応を行った後（初診以降）のサポー
トは、緊急時支援者へご相談をお願いします

お引き受けできること

- **緊急時の一次対応以降の通院の送迎及び同伴**
緊急時の一次対応を行った後（初診以降）の病状等が回復するまでの通院の送迎や同伴
- **緊急時の一次対応以降の経過報告**
緊急時の一次対応を行った後（初診以降）の通院の送迎及び同伴を行った際の状況について、LINEワークスで報告

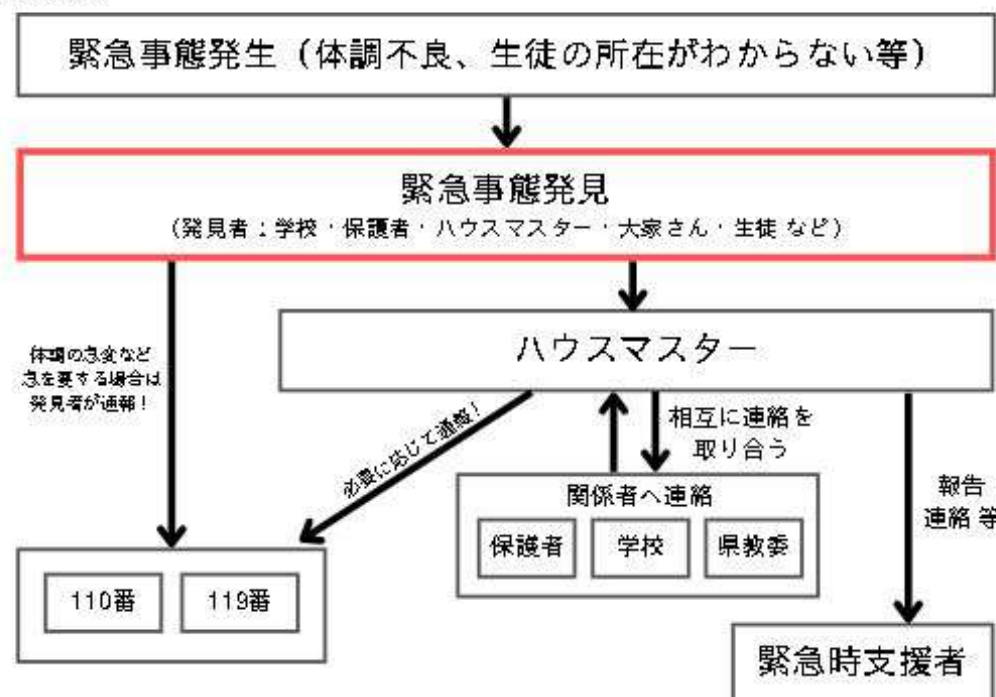
お引き受けできないこと

- **緊急時の一次対応以降の継続的な支援**
買い出しや炊事等の家事
- **行政手続き等の送迎**
公共交通機関が利用できる際の送迎
- **お金の立て替え**
緊急時を含め、金銭の立て替え

※ありこや入寮生については可能な限りのサポートは行いたいと思っていますので、何かあればご相談ください。できる限りのご対応を考えさせていただきます。

令和7年度 緊急時の対応

(1) 緊急時の対応



意識や反応がある場合でも
こんな時は119番！！

- ☑ けいれんを起こし、すぐにおさまらない（5分以上）
- ☑ 発作が終わっても意識がもうろうとしている
- ☑ 頭から首にかけての大きな怪我
- ☑ 熱中症が疑われ、意識がもうろうとしていたり、体温が極端に高い
- ☑ 大量に出血している場合や出血が止まらない
- ☑ 骨折が疑われ、骨が飛び出していたり、変形している部分に傷がある

☑ 発見者をお願いしたいこと：

※「いつ、どこで、誰が、どんな状態になったか」を発見日時（様子が変化した日時）とともに記録してください

【メモの例】

12月5日
15:30 寮生Aが男子トイレで倒れているのをハウスマスターBが確認。呼びかけにも一切反応しない。Bはすぐに責任者Cを呼ぶ。
15:32 Cの指示により、Bが救急要請。
15:47 Bが他の寮生を動揺させないように指示してたところ、救急車が到着。
15:55 ○○病院に搬送開始。Bが同乗する。
16:00 Aの搬送後、Cが家族に事故の第一報を連絡。

シェアハウス定期建物賃貸借契約書

賃貸人一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム（以下「甲」という。）と賃借人（以下「乙」という。）及び連帯保証人（以下「連帯保証人」という。）とは、契約要項記載の目的物について、以下のとおり借地借家法第38条に定める契約の更新のない定期建物賃貸借契約（以下「本契約」という。）を締結する。

[契約要項]

建物の表示	名 称	ありこや
	所 在 地	
	用 途	居住
	構 造・規 模	木造 平屋建て
貸目賃的借物の	目的物の位置及び範囲	102
	目的物の床面積	10.83㎡
賃貸借の条件	使 用 目 的	有田工業高校の生徒寮としての居住・利用
	契 約 期 間 (契約終了の通知をすべき期間)	2025年 3月21日から2028年 3月10日 (2027年3月11日から2027年9月10日まで)
	賃 料	月額 金 20,000円
	共 益 費	月額 金 5,000円
	敷 金〔保 証 金〕	なし
	賃料及び共益費の支払方法	乙は、翌月分の賃料及び共益費を毎月末日までに甲の指定する銀行口座に振込むことにより支払う。 振込手数料は乙の負担とする。
	特 約 事 項	別紙に記載

((!!)) 大変だったこと

高校生(未成年)を対象とした学生寮としての賃貸借契約の形をつくるのが大変だった。

寮運営に関連して発生するリスクの洗い出しが大変だった。

運営がはじめてから、人によって業務として実施する必要があると考える程度に違いがあったため、目線合わせが大変だった。

24時間対応できるスタッフがいないため、緊急時対応者として待機するハウスマスターの心理的負荷が大きかった。



よかったこと

弁護士の先生にご相談しながら契約書を作成した。

寮則を、①絶対に守る事項(守らないと退寮)②生徒たちと話ああって決める生活のルール of 2つにわけてつくった。

責任問題が発生しうる事項ごとに、同意書、契約書等の各種書類を作成した。

緊急時の連絡先を生徒、保護者、学校、県、ハウスマスターで共有しておくことで、緊急時に迅速な対応ができた。

ガイドラインがあることで、ガイドラインに沿って実施すること/ガイドライン上では実施しなくて良いこととなっているが「やってあげたい」ということを切り分けて話し合うことができるようになった。

質疑応答

まとめ

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り



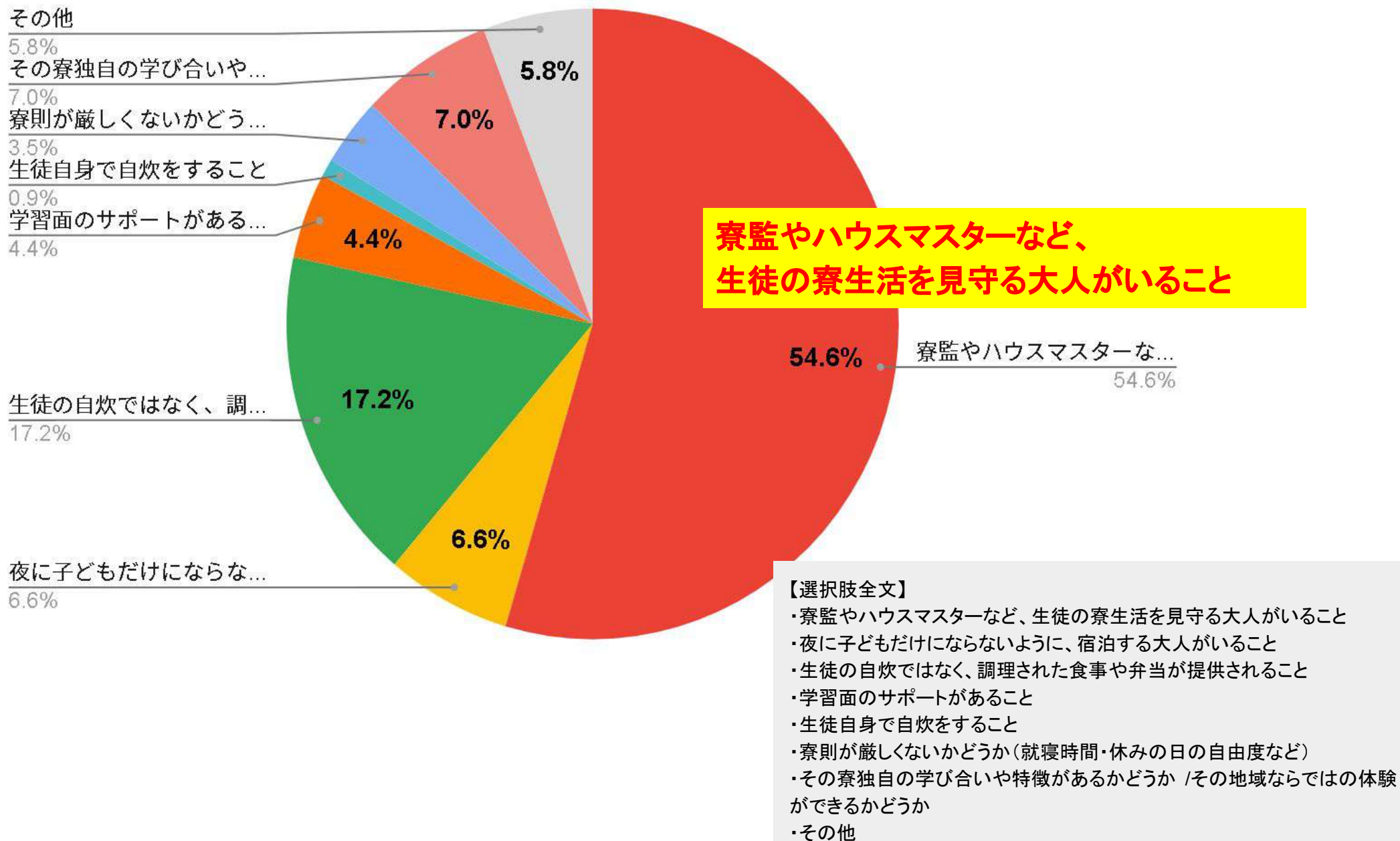
**住まい整備で大切なのは、
建物そのものだけでなく、人の配置としくみづくりです。**

まずは**コンセプト**を共有することで、関係者の間に共通の土台をつくります。
そのうえで、**人員体制**や**役割分担**、**コミュニケーションライン**を明確にし、動き出せる体制を整えることが重要です。
そして、整備した住まいがきちんと機能するよう、**日々の業務を無理なくまわせるしくみ**をつくっていきます。

予算規模や、物件の条件(位置、間取り、大きさなど)によって、ハード面でできることが制限される場合も、「人の配置」や「しくみづくり」というソフト面の整備を工夫することで、地域ならではの特色を出せる可能性が広がります！

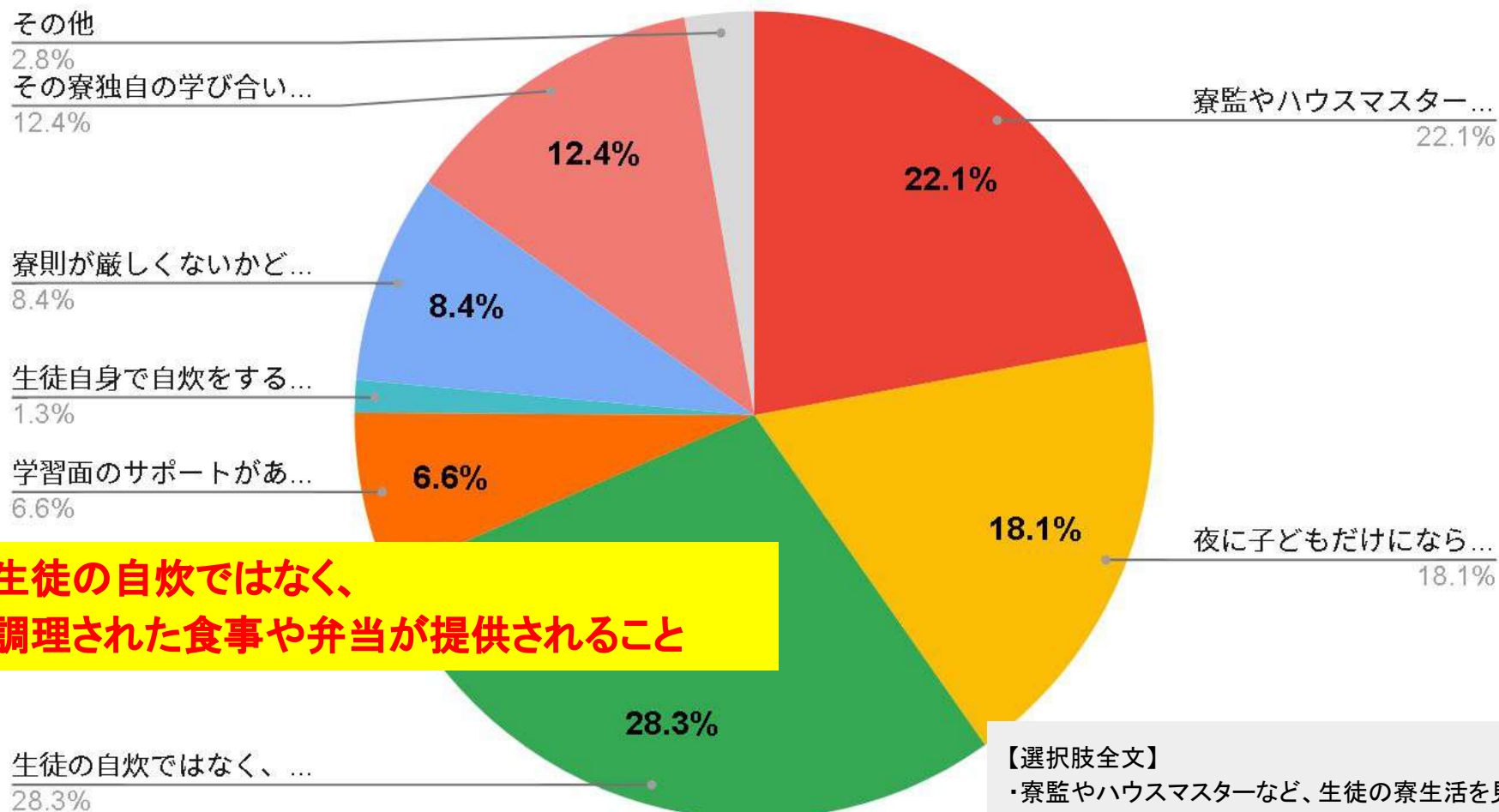
地域みらい留学検討者を対象にしたアンケート

住まいを選ぶ際に1番目に外せないポイントを教えてください



地域みらい留学検討者を対象にしたアンケート

住まいを選ぶ際に2番目に外せないポイントを教えてください

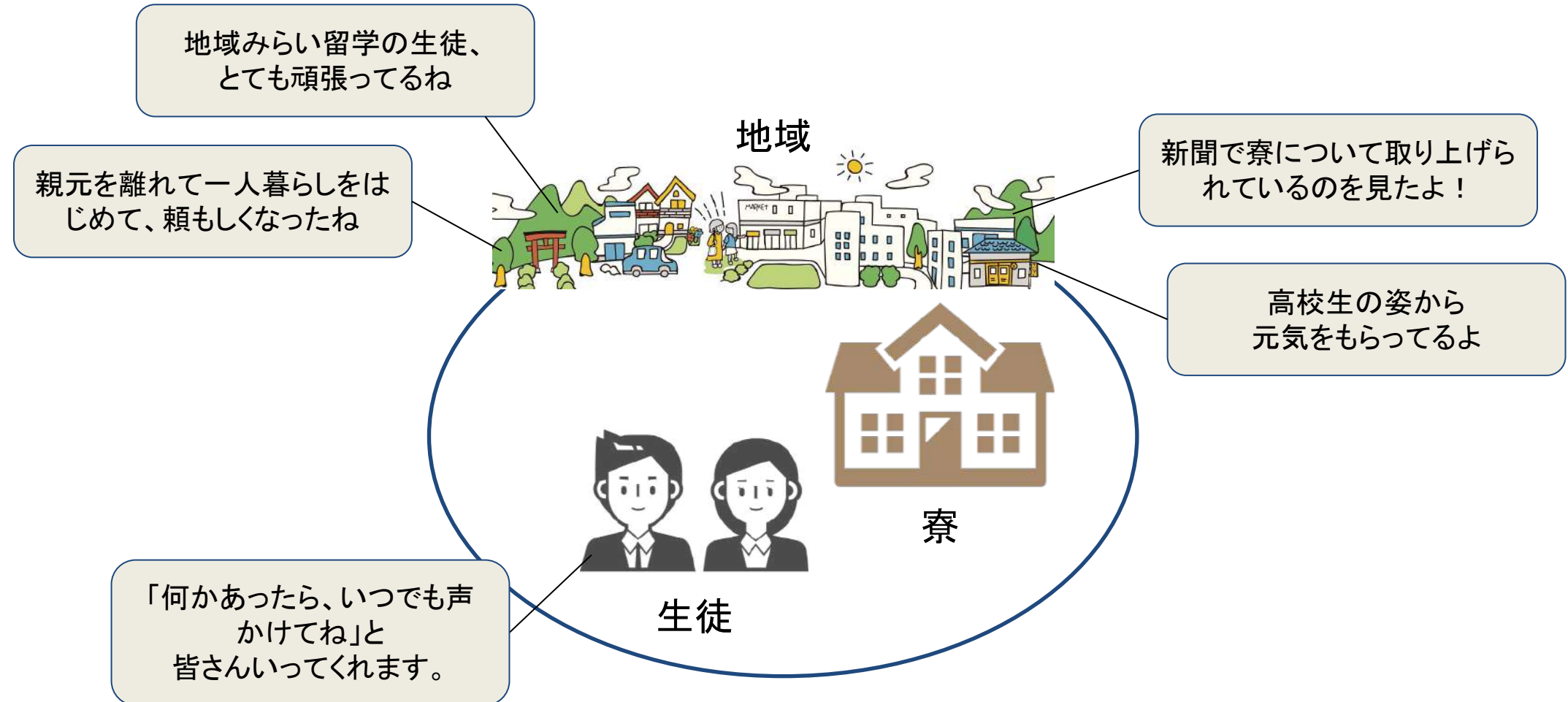


**生徒の自炊ではなく、
調理された食事や弁当が提供されること**

【選択肢全文】

- ・寮監やハウスマスターなど、生徒の寮生活を見守る大人がいること
- ・夜に子どもだけにならないように、宿泊する大人がいること
- ・生徒の自炊ではなく、調理された食事や弁当が提供されること
- ・学習面のサポートがあること
- ・生徒自身で自炊をすること
- ・寮則が厳しくないかどうか(就寝時間・休みの日の自由度など)
- ・その寮独自の学び合いや特徴があるかどうか / その地域ならではの体験ができるかどうか
- ・その他

高校生が生活する寮がある地域の風景は、どんなものでしょうか？



地域で生活し、卒業した生徒が留学先の地域に残ったり、他の地域に就職して、今度は受入側として活躍する事例もあります。

<礼文 礼文高「最北島」の留学生>下 「1期生」半数残って就職

会員限定記事
2023年11月10日 9:59

あとで読む



「島に居残しがしたい」と、礼文町役場で働く黒田鈴百さん。



礼文町

2020年度から生徒の全国募集を始めた宗谷管内礼文町の礼文高から今春、「留学1期生」にあたる島外出身者8人が卒業し、このうち4人が島内で就職した。千葉県松戸市出身の黒田鈴百（すもも）さん（18）は礼文町町民課で業務に励む。「島に来て前向きな自分になった。その居残しがしたい」と島に残ることにした。

この地に残り 貢献したい

遊佐高の県外出身2人 東北公益大に進学



遊佐町の遊佐高で、県外出身の2年生の男子2人が、今年3月に卒業し、進学先として県内の大学に進んだ。1人は卒業後、遊佐町内の高専に進学し、もう1人は県外の大学に進学する。

町の留学支援制度 1期生5人、今春卒業

遊佐町の留学支援制度は、県外出身の生徒が、遊佐町で生活し、卒業後、遊佐町に残り、地域に貢献したいという希望を持つ生徒を対象に、遊佐町が費用を補助し、進学先を支援している。今年3月に卒業した1期生5人は、この制度を利用して、東北公益大学に進学した。

湧別高の魅力発信 協力隊・田中さんが「コーディネーター」に 離島留学の経験生かし活動

今井彩乃 有田聖菜
2024年5月15日 18:52(5月15日 18:01更新)

あとで読む



「生活実情と積極的にコミュニケーションを取っていきたい」と笑顔で話す田中彩乃さん。

県内最年少の協力隊着任 神奈川県出身の市川さん 喜界町

2022年04月14日 政治・行政

いいね! 127 シェアする ポスト



喜界町に今年度から、今春に高校を卒業した市川萌笑（もえ）さん（18）＝神奈川県相模原市出身＝が地域おこし協力隊として着任した。市川さんは島根県海士町の高校で3年間を過ごした島留学の経験を生かし、喜界町が官学連携で取り組む喜界島版の離島留学「サンゴ留学」の周知や制度設計を担う。県地域政策課によると、県内自治体ではこれまで高校卒業後すぐに地域おこし協力隊として着任した事例はなく、市川さんは県内最年少の協力隊として活動する。

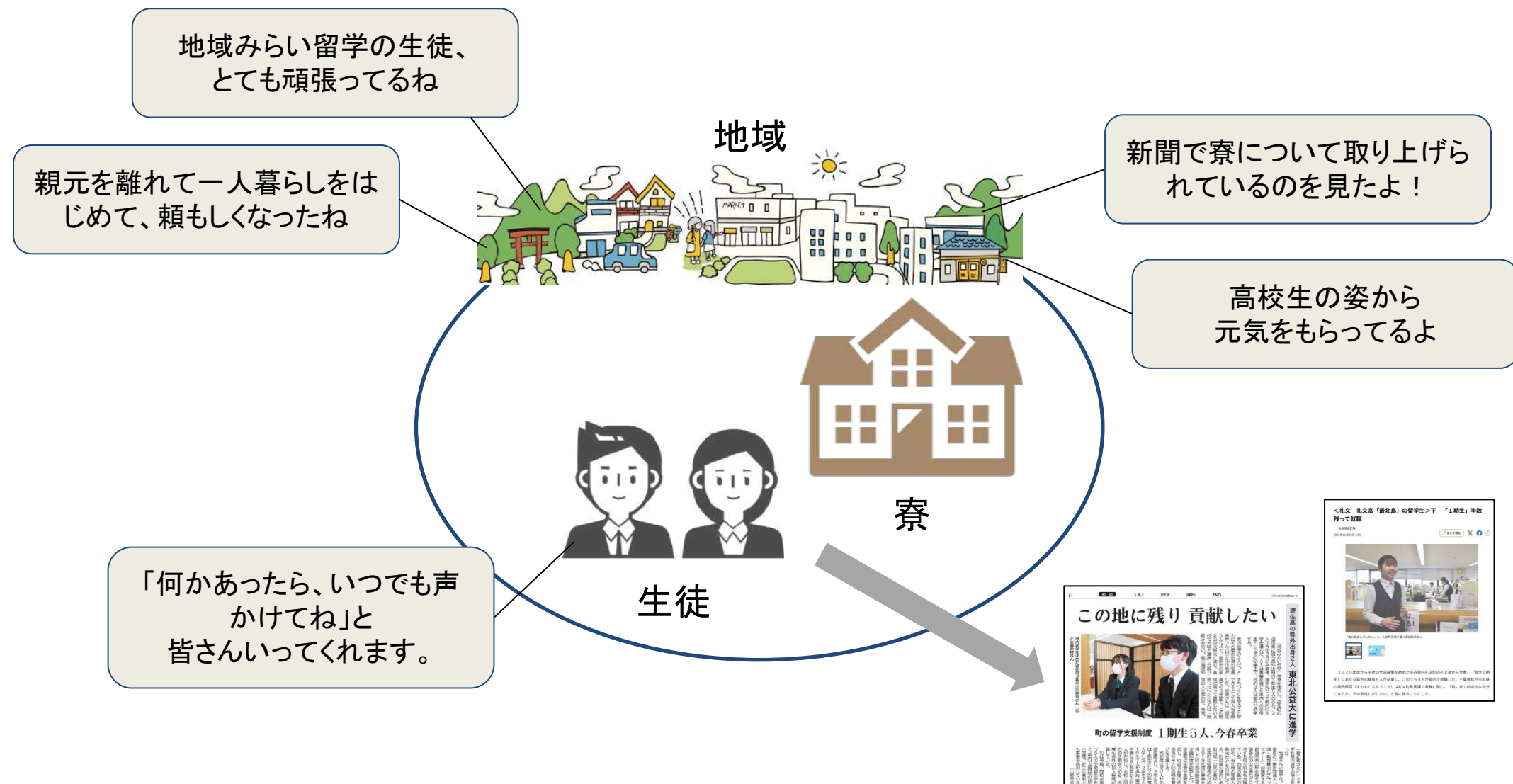
市川さんはさまざまな目的・目標を持ち、価値観が異なる同世代との交流や自然に親しむため、古里を離れて島留学の先進地として知られる島根県隠岐諸島の隠岐島前高校に進学。官民挙げて島留学を支える地域の体制を肌で感じてきた。

県内最年少の地域おこし協力隊として喜界町に着任した市川さん＝11日、喜界町高

住まい整備とは？

- ▶単なる居住空間ではなく、学びや出会いをつくる教育寮づくり
- ▶教育寮があることで地域の関係性をつなぎなおすことができる
- ▶地域の人と人が関わる“きっかけづくり”

寮運営はまちづくり



<https://www.youtube.com/watch?v=di4R5ax1dTc&t=164s>

2分44秒～



<https://youtu.be/2fs9uCiViwc?t=327>

5分28秒～



お知らせ

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

本日の資料と動画は参画校サイトに掲載します。
本日の研修へのご意見やご感想をぜひお聞かせください。

